

# 恵那市産業振興ビジョン（素案）

～事業者の稼ぐ力向上による地域経済の活性化～

概要版

平成30年3月

恵那市

# I. 産業振興ビジョンの基本的な考え方

## 1. 目的等

「恵那市産業振興ビジョン」（以下「ビジョン」）は、地域産業及びその担い手である中小企業等が地域社会の発展に果たす役割の重要性を認識の下、恵那市を取り巻く社会経済環境の変化等を踏まえ、市と中小企業者等が協働して取り組む産業振興の基本方向や推進する施策などを明らかにすることを目的に策定するものです。

また、このビジョンは、恵那市中小企業・小規模企業振興条例第4条の規定に基づき、地域の中小企業関係団体と密接に連携し、市が定める“中小企業振興のための指針”の性格を併せ持っています。

## 2. 構成及び期間

このビジョンは、恵那市産業振興会議において市と中小企業者等との協働により取り組む産業振興施策等を体系的にまとめたものです。

ビジョンは全体を「5つの施策の基本方向」と「15の基本施策」を基本に、重点的に推進する「7つの重点プロジェクト」と基本施策を具体化するために実施する「32の展開事業」を体系的に整理しています。

ビジョンの期間は、総合計画との整合を考慮し、平成30年度から概ね8年間程度とします。

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度
第2次恵那市総合計画										
恵那市まち・ひと・しごと創生総合戦略										
恵那市産業振興ビジョン										

↑ 見直し

## 3. 推進体制

市と中小企業等との協働を基本にビジョンを推進するため、中小企業者、中小企業関係団体、農林業者、金融機関、行政、大学などで構成する、『恵那市産業振興会議』および『恵那市もうかる農業検討委員会』において、中小企業振興及び地域産業振興等の推進に関する事項などについて協議を行います。

## Ⅱ. 産業経済の現状と課題

### 1 地域の現状

#### ○ 自然・地理的構造

- ・岐阜県の南東に位置し名古屋から1時間
- ・山紫水明の豊かな自然、歴史街道が存在

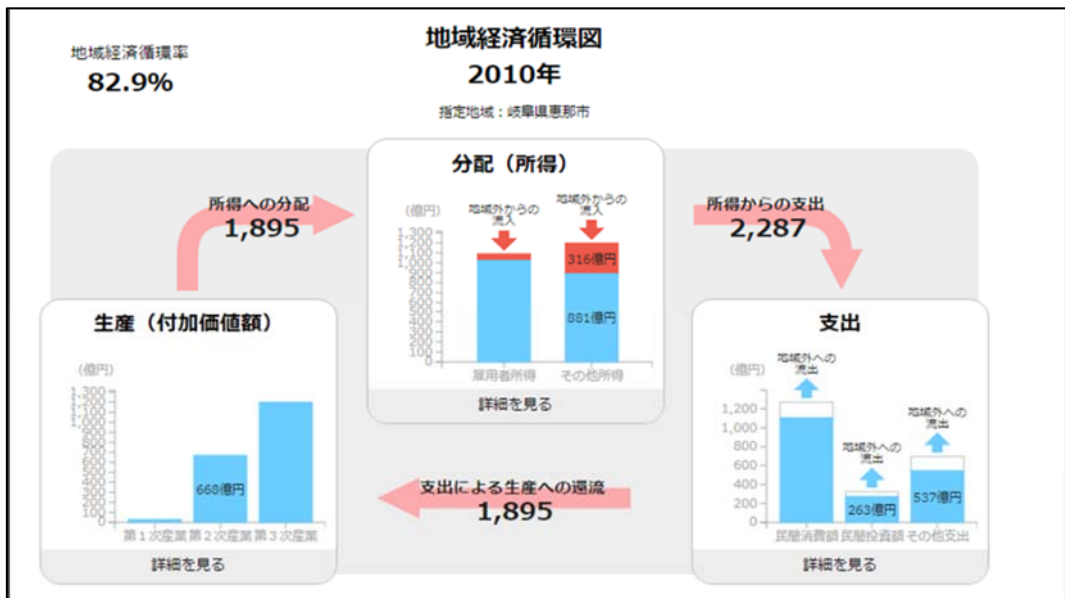
#### ○ 人口の動向

- ・人口は1985年をピークに減少。修学・就職により転出する人が増加
- ・人口減少による消費購買力の低下

### 2 産業の現状と課題

#### ○ 産業構造の現状と課題

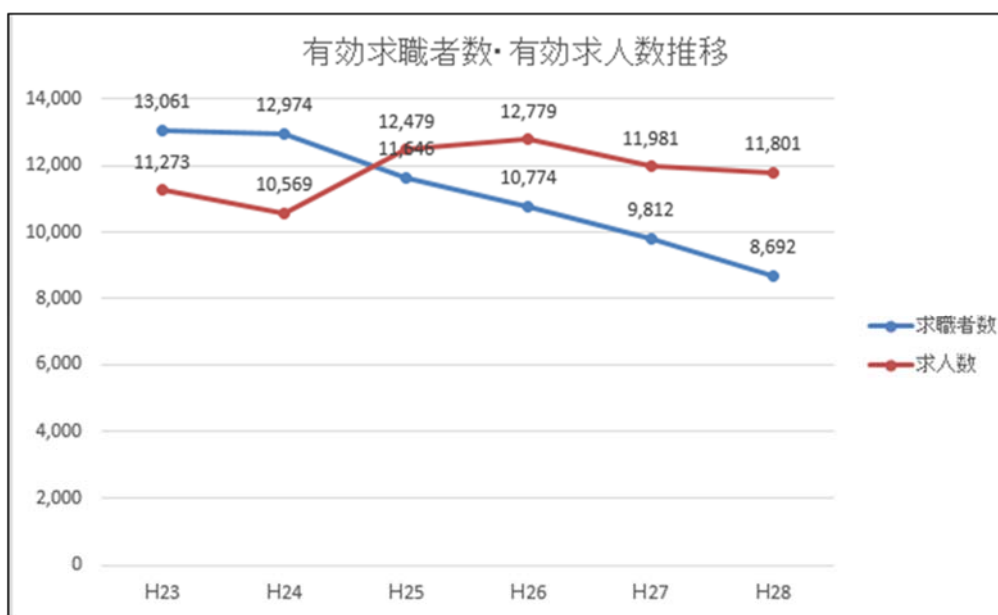
- ・創業比率は低い（県内22位、全国916位）
- ・基幹産業は製造業だが、製造品出荷額等は減少傾向
- ・製造業につぎ卸・小売業などの商業も地域経済を担う
- ・地域外から財やサービスを買っている（平成22年地域内経済循環82.9%）



資料：経済産業省・内閣府地方創生推進事務局 RESAS

## ○ 就業構造、雇用環境の現状と課題

- ・ 求人数は増加傾向だが、求職者は右肩下がり（有効求人倍率は 1.22 倍）
- ・ 高校生の市内就職率は 20% 台
- ・ 人手不足を解消するため市外・県外からの採用が課題
- ・ 従業員の高齢化が進み、優れた技術の伝承や若手を教育する人材の育成が課題
- ・ 恵那市の事業所総数に占める中小企業の割合は 95% 以上となっており、小規模事業者の経営改善が課題



資料：ハローワーク恵那業務年報

## ○ 商業・観光の現状と課題